

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：平成30年12月26日
発行：袋井市総合戦略室



2018.12.17@静岡理科大学

無人航空機分野の第一人者である鈴木教授による特別講演

日時：平成30年12月17日（月）16:20～17:50

場所：静岡理科大学 建築棟en203講義室

講演者：東京大学大学院 大学院工学系研究科
航空宇宙工学専攻航空宇宙システム学講座
鈴木真二 教授

内容：空飛ぶ車やAED搬送などドローンの活用の可能性などを示唆

満員
御礼



静岡理科大学「無人航空機研究連絡会」 2018.10発足

静岡県・袋井市での航空宇宙産業の創出と利活用の活性化に研究機関として貢献することを念頭に、
本年10月に機械工学科航空工学コースの担当教員を核として学内に「無人航空機研究連絡会」を発足。

活動の一環として、月例の連絡会集い（講演会、意見・情報交換）を開催中。
大学独自の有翼・垂直離発着無人航空機的设计・製作などに着手

【関連施策】エコパドリームプロジェクト/近未来サービス実証事業

はじまりを、つくる

（設立メンバー）

教授 増田和三、教授 佐藤彰、准教授 花田佳彦、特任講師 田村博



ドローン活用分野紹介

第一人者鈴木教授（東大大学院）講演

静岡理工科大

ドローンや無人ヘリコプターをはじめとした無人航空機分野の第一人者で、東京大大学院の鈴木真二教授の講演会が17日、袋井市の静岡理工科大で開かれた。学生や一般企業の関係者ら約100人が、日本航空宇宙学会会長や国際

航空宇宙連盟理事などを歴任した鈴木教授の講義に耳を傾けた。

鈴木教授はドローンの飛行原理を解説した上で、ドローンの活用分野を紹介。測量の自動化へ建設業界が注目しているとし、災害時の物資輸送への活用にも期待感を示した。

ドローンを活用した自動体外式除細動器（AED）の輸送実験に触れ、迅速な処置の開始につながると説いた。「ドローンが大型化すれば、人を運ぶ能力を持ちうる」とし、人の乗れるドローン「空飛ぶ車」の開発が



講演する鈴木教授＝袋井市の静岡理工科大

実現する可能性にも言及した。空中を直線的に移動するため地上より早く目的地に達し、渋滞の影響も受けないとの見解を示した。

無人航空機の機体開発や産業活用を模索・研究する無人航空機研

究連絡会が主催。同会は今秋発足し同大の教授らで構成する。同大の増田和三教授は「研究者ら開発する側と農業など活用する側をつなげる役割を担ってほしい」と見据えた。（袋井支局・伊藤龍太）